

| | | | |
|-------|------------------|--------|-------------------|
| 事業名 | 人にやさしいまちづくり事業費 | | |
| 細事業名 | 人にやさしいまちづくり相談事業費 | 財務コード | 338301 |
| 担当部課室 | 県土整備 部 | 建築住宅 課 | 建築防災 担当 (内線) 7663 |

| | |
|------|-----|
| 調書番号 | 103 |
|------|-----|

I 事業の概要

| 実施期間 | 始期 H7 年度 ~ 終期 年度 | | | | | | |
|------------------------------|---|--------------|-----------------|--------------|------------------------------|---------------------------------|--------------|
| 実施主体 | 県(委託) | | | | | | |
| 目的 | <table border="1"> <tr> <th>だれ(何)を対象に</th> <th>その対象をどのような状態にして</th> <th>結果、何に結びつけるのか</th> </tr> <tr> <td>住宅のバリアフリー化や耐震対策について助言を必要とする者</td> <td>住宅のバリアフリー化や地震対策に関する不安や疑問が解消できる。</td> <td>安全で快適な住生活の実現</td> </tr> </table> | だれ(何)を対象に | その対象をどのような状態にして | 結果、何に結びつけるのか | 住宅のバリアフリー化や耐震対策について助言を必要とする者 | 住宅のバリアフリー化や地震対策に関する不安や疑問が解消できる。 | 安全で快適な住生活の実現 |
| だれ(何)を対象に | その対象をどのような状態にして | 結果、何に結びつけるのか | | | | | |
| 住宅のバリアフリー化や耐震対策について助言を必要とする者 | 住宅のバリアフリー化や地震対策に関する不安や疑問が解消できる。 | 安全で快適な住生活の実現 | | | | | |
| 内容 | <p>○事業の概要 本格的な高齢社会の到来を控え、高齢者・障害者等が生活の拠点である住宅を整備・改造するとき及び県民が地震に備え、住宅の耐震診断・耐震改修を行うときに、専門家に気軽に相談できる体制を確立し、安全で快適な住生活の実現を図ることを目的として、相談窓口を建築士会に開設し、専門家である建築士が窓口にて県民の相談に応じ、指導及び助言を行う。また、必要に応じて、建築士を現地に派遣し、指導及び助言を行う。</p> <p>○委託先:(一社)山梨県建築士会(住宅建築に係る相談業務の委託)</p> <p>○業務内容: ・高齢者の住宅に関する設計に対する相談 ・高齢者等の住宅の改造方法等についての助言 ・住宅の耐震診断・改修に関する技術的助言 ・出張して相談(相談者からの派遣要請時)</p> | | | | | | |

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

| 区分 | 指標 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
|-------------|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 活動指標 | 高齢者等住宅相談件数 | 目標 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 |
| | | 実績(見込) | 212 | 188 | 188 | 174 | 161 | 150 |
| | | 達成率 | 141.3% | 125.3% | 125.3% | 116.0% | 107.3% | 100.0% |
| | | 達成区分 | a | a | a | b | b | b |
| 成果指標 | 高齢者等の住宅相談者への回答や対応に対する満足度がやや満足以上である件数の相談件数に対する割合 | 目標 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | 実績(見込) | 53.1 | 99.5 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | 達成率 | 53.1% | 99.5% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| | | 達成区分 | c | b | b | b | b | b |
| 決算(予算)単位:千円 | | 1,134 | 1,167 | 1,167 | 1,167 | 1,167 | 1,167 | 1,178 |

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

| | | |
|------|---|--|
| 活動指標 | b | 評価 毎年概ね約170件前後の相談件数があり、制度が積極的に活用されている。また、現地での相談体制も整えており、相談員派遣申請があった場合には自宅を訪問し、現場に適した改修方法を具体的に説明するなど、きめ細やかな対応を行っている。 |
| 成果指標 | b | |

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

| | | |
|-----------|----|--|
| 県関与の必要性 | 判定 | <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い |
| | 説明 | <input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 有効性(成果向上) | 判定 | <input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない |
| | 説明 | より高い満足度が得られるよう今後もさらに丁寧な対応を行っていく。 |
| 見直しの余地 | 判定 | <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない |
| | 説明 | <input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 () |
| その他 | 説明 | |
| 見直しの必要性 | 有 | 利用者の満足度は高いものの、相談件数は年々減少傾向にあることから、利用者の拡大を図る取り組みが必要である。 |

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

| | | |
|----------|----|--|
| 実施方法等の変更 | 説明 | 市町村と連携し、市町村のホームページへの掲載や、耐震啓発活動を通じて周知を図るなど、利用促進に向けた更なるPRを行っていく。 |
|----------|----|--|

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。